

第 3 回委員会での意見・指摘事項への対応

項目	意見・指摘事項	対応
目標像	・大径木化を全否定するのではなく、部分や区間として考えるべきである。	・大径木化を問題として一律の対策を講じるのではなく、安全性や景観等の他の要因も加味し実施方針を設定します。
	・“身の丈”の程度を具体化すべきである。	・身の丈の具体性については、今後補足説明を追記し、わかりやすくします。
	・長期的なビジョンについては、30年後の交通体系や道路構造の変化を想定したビジョンの設定が必要である。	・長期的なビジョンは、市の想定するまちのあり方を踏まえながら設定します。
	・長期的ビジョンとして、外国人対象の観光地化も含めて検討すると良い。	
(樹種)	・ペデ部は落葉樹の方が良い。夏は緑陰、冬は日照が欲しい。	・樹種については、今後路線ごとの将来像の検討の際の参考にさせていただきます。
モデル路線	・市民と愛着のある箇所の緑量を減らす場合、市民との対話をし、市民の納得のいく緑の減らし方をするべきである。	・よくなるプラン改定版で市内街路樹の緑量を減らす必要があることを示すとともに、個々の路線での具体的な検討に当たっては、市民の方との対話を図りながら進めます。
(試行案)	・P25のサクラの根元の低木は不要である。	・植栽木の根元の低木撤去は、改善案の一つとして委員会でイメージを示します。
	・P29の植栽帯を撤去し、歩道の中央に単樹の高木を配置し、両側の高木及び低木を撤去するのはどうか。	・植栽帯の撤去及び単樹への切替や植栽構造については、改善案の一つとして委員会でイメージを示します。
	・モデル路線選定の際市民の要望を加味する必要がある。	・市民アンケートに多く記載された路線など、モデル路線選定の参考にします。
コスト	・街路樹の寿命を設定し、若木更新サイクルをつくり、管理費用のシミュレーションをすると良い。	・今後、若木更新サイクルを行った場合の管理費のシミュレーションを行います。
市民連携	・グリーンライブセンターによくなるプランを掲示し、市民への周知を図ると良い。	・よくなるプランの改定版については、グリーンライブセンターや、市民の多く集まる施設等に掲示し、周知に努めます。
アンケート	・回答結果は回答者の居住歴に左右されるため、集計の際にはクロス集計が必要である。	・クロス集計を実施し、詳細の分析を行います。
その他	・よくなるプランの改定版では、現在の課題の悪循環を断ち切り、必要な剪定を実施しプラス面を最大限に、マイナス面を最小限にする必要がある。	・よくなるプランの改定版では、定期的な剪定の必要性を踏まえ全体の方針を設定し、課題改善に努めます。